

勢和小学校だより



明日も行きたくなる勢和小 ～楽しく笑って過ごせるように、やって、考え、工夫しよう～

発行日：令和7年5月23日 第8号

落ち着いた環境で学校生活を送るために ～チャイム着席を徹底しよう～

授業が始まって必要なものが準備されておらず、席から離れロッカーから教科書を出すこと等があったことから、意識付け週間を設定し、全員が授業の準備をしてから遊びに行き、休み時間後にはバタバタせずに落ち着いた雰囲気ですぐに授業が始められることを目指しています。

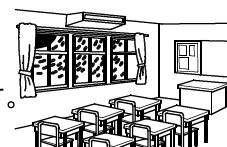
先日、意識付け週間の各クラスの結果を達成率を調べたところ、最高達成率は88%、最低は25%でした。今回は15分休み後の3限目に特化し、2限目終了後に3限目の準備をしてから遊びに行き、15分休み終わりのチャイムが鳴ったら速やかに教室に戻り、全員が着席していることを条件としました。

ほとんどの人がクリアしても全員がクリアしていないと達成したことにはならないため、全てのクラスで100%には至りませんでした。

しかし、この結果で子どもたちが自分たちのクラスの課題を認識し、行動を改めていけば、今回の結果が良い学びのきっかけになります。それぞれのクラスで自分たちの結果を振り返り、「やって、考え、工夫しよう」で、どうすれば達成率を上げることができるかを考え、まずは自分が意識し、そして互いに言葉がけを行うことができれば、まさにチーム一丸となった取り組みになっていきます。

小さな目標を掲げ、継続して取り組ませていくことで、子どもたちの達成感や充実感を味わわせることができ、その結果「自分たちってすごいな」と自己肯定感を高めることにもつながります。

スモールステップの課題を投げかけ、課題を克服する様々な機会を今後も設定していきます。



ちつきどうあん 竹輝銅庵 様から一輪車2台を寄贈



多気町の子どもたちのために、松阪市の^{ちつきどうあん}竹輝銅庵様から町内全小学校に贈り物が贈呈され、本校には一輪車を2台いただきました。

生活委員会が全校に向けて動画配信を行い、^{ちつきどうあん}竹輝銅庵様からいただいたこと、大切に使って欲しいことを伝えました。

ありがとうございます。

勢和大橋 交通事故防止のため 下校時、勢和大橋を越える所迄はスクールバスで

スクールバス利用に関する規定

「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令」では、通学距離を小学校では4km以内としており、それ以上の距離の場合には交通手段を活用することで対応することになっています。出江地区の児童は通学距離が4km以内で、バスなど交通手段対象外ですが勢和大橋で降車後は徒歩であること、10年以上も危険が指摘されていることから、認められる可能性があります。



車の往来が多いことから登下校中の危険がこれまでも指摘されていた勢和大橋について、拡幅工事の見通しは立っていません。

役場、教委、警察、学校をはじめとする関係機関で具体的な解決策を検討してきた結果、特に交通安全ボランティアの見守りが無い下校時の危険性を排除するため、学校から勢和大橋を渡り終える区間のみ、上・下出江の児童をスクールバスに乗せてはどうかということになりました。

両地区の保護者の皆さんにその旨をお伝えし考えを伺ったところ、多くの方の賛同を得たことから、学校として教

育委員会事務局に対し、正式に要望書を提出いたしました。要望の結果については分かり次第お知らせします。

PTA 作業おせわになります

～今年度、来年度は年1回実施に～

5月24日(土)にPTA作業があります。特に片野、波多瀬・古江・三養の保護者の皆様には大変お世話になります。

令和5年度に、少しでもPTAの負担を減らすためにPTA作業を年1回にしてはどうかとするアンケートをPTA会員を対象にした結果、年2回実施でよいとする意見と年1回実施という意見がほぼ同数だったことから、PTA本部や生活環境部で検討し昨年度はこれまでどおり年2回実施しました。また今年度と来年度は、校区を2つの地区に分け、今年度は「片野、波多瀬・古江・三養」、来年度は「朝柄、出江、丹生」の地区で作業を実施することになりました。来年度には、年1回に減らしたメリットやデメリットを検証し、PTA作業についてよりよい方向を決めていただく予定です。なおこれまで10月に実施していた作業は、学校予算でシルバー人材センターに依頼し草刈りなどの環境整備を進めています。



色太バス停増設に関わる要望

登下校中に猿が出没し子どもたちに危害を加えかねないため、道中の安全を確保するため新たにバス停を設置して欲しいとする要望が昨年度、色太地区から教育委員会に出されたことから、本校としても色太地区保護者の考えを尊重し、教育委員会事務局に色太地区バス停増設に関わる要望書を提出いたしました。

子どもたちの安全確保のため要望が実現されることを期待しています。

